

て給水車による応急給水のみで必要水量を賄おうとすると、相当数の給水車が不足するとの報告が出ており、南海トラフ地震対策は喫緊の課題として認識しているところです。

現在、協会では会長都市をはじめ中部地方支部長都市を含む各地方支部長都市などで構成する協議会を設置し、『手引き』の実効性の向上と運用上の課題の整理・検証などを行っております。この協議会の中で、南海トラフ地震対策についても具体的な検討を行い、発災時にスムーズに応急給水活動等ができるよう備えていきます。

中部防災推進ネットワークに参加させていただき、各団体間で日常的な情報共有や連携を進めることで、発災時の円滑な連携など、この地域の防災力の強化につなげていくことができると考えておりますので、よろしく申し上げます。

()

<日本水道協会 中部地方支部 URL>

<http://www.jwwa-chubu.jp>

(2) 日本赤十字社

①懸念・課題

日本赤十字社は、「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間の命と健康、尊厳を守る」という使命に基づき、災害救護事業を始めとする各種事業を実施しています。

愛知県においては、愛知県、名古屋市、日本赤十字社愛知県支部の3者で「災害救助法に基づく救助に係る委託に関する契約」を締結し、災害時の活動に備えた事業を実施しています。

南海トラフ地震に対しては、日本赤十字社は全社的に対応計画を定め、発災に備えて各都道府県支部が訓練等を行っていますが、富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県の各県支部で構成する日本赤十字社第3ブロック内での南海トラフ地震を想定した連携訓練の実施には至っておらず、課題であると考

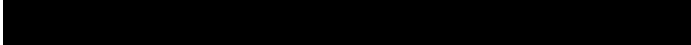
えています。今後、各関係機関と連携を進めながら、これらの対応にあたっていきたいと考えています。

②各業界にお願いしたいこと

各業界団体様と平時の連携を進め、災害時に円滑に協力できるよう様々な取り組みを行っていきたいと存じます。

③中部防災推進ネットワークへの期待

各業界の有益な取り組みの共有や、各業界団体様との連携を進める機会の提供を、今後も進めていただければと思います。

()

2. 本ネットワークの参画団体からのお知らせ (防災イベントの予定等)

(1) 事業継続推進機構 BCAO

○イベント名

12月度月例オープン勉強会

○開催日時

2021年12月17日(金) 14:00～16:20

○開催場所

オンライン開催(Zoom)

○概要

事例取材とアンケート調査から見たBCPの成果、企業の取り組み事例について

○URL

<https://www.bcao.org/seminar/111.html>

3. 編集後記(事務局・協力団体のひとこと)

中部防災推進ネットワークの事務局メンバーを務め

ています、日本損害保険協会中部支部の [REDACTED] と申します。
この4月に中部支部の拠点がある名古屋にやってきましたが、早くも年末を迎えようとしており、時が過ぎるのは早いなど感じております。名古屋に来る前は、東京にある本部で地震保険の普及・啓発のための広報活動を主な業務として取り組んでいました。具体的には、地震保険に関するセミナー・イベントの開催や、地震保険に関する番組・CMの制作に関わる業務などです。よって、毎日、地震について何かしら考えていた、と言っても過言ではない環境下におりました。

さて、先週の12月7日は昭和に発生した東南海地震から77年の日でした。その約1ヶ月後に発生した三河地震以降、東海地方においては幸いにも多くの死者を出さような大地震には見舞われておりません。また、私自身も名古屋にやってきてからは、7月の静岡県での大雨災害による災害救助法適用に伴う業務をはじめ、地震というよりは台風や大雨のリスクにばかり気を取られていました。そんな中、ここ最近山梨県や和歌山県で震度5弱を観測するなど各地で地震が相次いでおり、改めて地震の危険と隣り合わせであることを実感させられております。

南海トラフ地震をはじめとした大地震はいつ起きてもおかしくはない状況にあります。起こってほしくはないですが、万が一東海地方で大地震が起こった場合、本ネットワークが少しでも皆様のお力になれるよう、事務局として取り組んでまいりますので、引き続きよろしく願いいたします。

最後になりますが本年も大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。

([REDACTED])